



2022-23 年度 RI テーマ  
IMAGINE  
ROTARY  
国際ロータリー会長  
ジェニファー・ジョーンズ

# Weekly Bulletin

## 藤枝南ロータリークラブ 会報



例 会：毎週金曜日  
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30  
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内  
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000  
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2022-23 年度  
会長：樽井 勉 副会長：渡邊博文 幹事：鈴木寿幸 副幹事：富澤賢一

### 例 会 第 1 4 7 6 回 通常例会/小杉苑

ソング それでこそロータリー、風 : ソングリーダー 古川賢吾君

### ■ 会長挨拶

樽井勉君



みなさん、こんにちは。

本日 10 月 14 日 11 時 30 分に、藤枝市役所 3 F に於いて、「藤枝災害支援金」の贈呈を、当クラブと藤枝クラブの合同で行いました。

当クラブで 50 万円、藤枝クラブで 50 万円の計 100 万円で目録を贈りました。災害支援には、義援金と支援金があり、即効性のある支援金名目にしました。支援金とは、復興支援が目的で、災害復興ボランティア等への支援も含まれます。義援金は、被災者に直接分配される目的で復興支援には使われません。

会員のみなさま、ご協力頂きまして、ありがとうございます。

前週に、1 人 1 万円をお願いしましたが、下期の会費請求時に特別会費として 1 万円を加算する案を、来月理事会に於いて諮ります。承認後、速やかにお知らせをします。宜しくお願いします。また、親睦旅行の件、1995 年の 5 周年記念旅行以来のアメリカ西海岸 1 週間を企画していましたが、急激な円安で海外は断念しました。

新しい行先は、道北です。北海道旭川を起点に 2 泊 3 日です。初夏の北海道、是非、楽しみにして下さい。

昨日、森下さんの新会員入会申込書を事務局よりメールさせて頂きました。

1988 年生まれで、最後の昭和生まれです。私より 28 歳年下です。私も、彼と同じ 34 歳で入会しましたが、19 歳年上の多々良睦生さんに、大変面倒を良く見て頂き、ロータリークラブが楽しくなりました。私も、多々良さん同様に面倒を見て行きます。多々良さん、10 月 22 日が命日で 7 回忌です。

みなさん、多々良さんを懐かしんでください。



## ■ 出席報告

小嶋英公君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
35/49 71.42%	38/49 77.55%

(1)欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）

○阿井君○池ヶ谷君○江崎君○川口君○杉浦君  
○鈴木健君○中村君○中山君○早川君○村松君  
○平原君○望月君○山田君 竹田君

(2)メイクアップ者

漆畑雄一郎君（藤枝）

## ■ スマイルBOX

小嶋英公君

- ・結婚記念日のプレゼントありがとうございました。お茶の香りを楽しみました。

古川賢吾君

**スマイル累計額 298,000円**

## ■ 会員卓話



富澤賢一君

警備業と言われる中には、全部で4つの区分（業務）に分かれています。

1つ目は1号業務と言われ、1号業務には施設警備、保安警備があります。

2つ目は2号業務で、交通誘導、雑踏警備があります。

3つ目は3号業務で、貴重品運搬警備、核燃料物質等危険物運搬警備があります。

4つ目は4号業務で、身辺警備でいわゆる「ボディガード」です。

当社では4号業務（身辺警護）以外の3つの警備業務を行っています。

本日はその中の貴重品運搬業務に関係し、皆さんにも関係することをお伝えしたいと思います。貴重品運搬って何？と思う人もいるのではないで

しょうか。

貴重品運搬警備業務とは、現金、貴金属、美術品等に係る盗難等の事故の発生を警戒し、防止する業務です。簡単に言えば「現金輸送」です。

現金輸送業務で運搬している通貨についてですが、日本の通貨には1円から500円までの硬貨が6種類。厳密に言えば新500円がありますが、一応金種としては6種類。

紙幣が1,000円、2,000円、5,000円、10,000円までの4種類。

この中には2,000円札があります。

我々の業務でも最近では2,000円札を全くと言って良いほど見なくなりました。

一方で昔懐かしい500円札が稀に回収されることもあります。

硬貨6種類、紙幣4種類の全10種類の金種の中の硬貨について話をしようかと思います。

一部の金融機関では、2020年頃から「硬貨整理手数料」と言われる手数料の徴収が始まりました。これは小銭（硬貨）を持込みして入金や振込をする時に、硬貨の枚数に応じて手数料が発生するというものです。2022年にはゆうちょ銀行も硬貨の取扱いが有料化したことでどの金融機関でも有料になっています。

通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律の第7条には、貨幣は、額面価格の20倍までを限り、法貨として適用するという法律があります。法貨は国が価値を認めた貨幣のことで、この条文は「20枚までなら硬貨で支払ってよい」ということとなります。逆を言えば、受け取る側が拒否した場合、大量の硬貨で支払うことができないということになります。

例にあげると、コンビニで100円のおにぎりを買うときに1円玉を100枚渡そうとした場合、コンビニ側はそれを拒否して「別の硬貨または紙幣で払ってください」という権利があるということになります。一昔前に500円玉を●●枚貯めると・・・といった貯金箱があつたりして、貯まった硬貨を銀行や郵便局に持ち込みしてジャラジャラと計測してもらい郵貯に入金したのですが、今では全く歓迎されない世の中になりました。

仮に500円玉貯金で2000枚貯めた場合、貯金箱には100万円あるのですが、これを地元信用金庫に持ち込むと、2,200円の手数料がかかり実際の貯金額が997,800円になってしまいます。国は硬貨を厄介者と思っているのかな

と感じてしまいます。

キャッシュレス時代と言われている世の中となり小銭貯金をするのは時代遅れなのかな？と感じてしまいます。しかし、キャッシュレスが進んでいるとは言え硬貨がなくなるとは思えませんし、小銭貯金が家にある人も多いかと思えます。2021年11月新500円硬貨が発行されました。あれから約11ヶ月自動販売機やコインランドリー、ドラッグストア、スーパー等で使用できない場所が多いのですが、その大きな理由に対応コストの問題があります。1つには、機械の部品交換で一台数万円、機械そのものを交換すると数十万円～数百万円。2つ目として、2024年に新紙幣への変更も控えているため企業側も機械を2度買い替える、こととなりその費用負担が出来ない。ということで約4割の企業が新500円硬貨への対応は考えていないという回答があったようです。

某飲食店では券売機入替コストの350万円をかけられず、お客さんが持っている新500円玉を店舗側が用意した旧500円玉と交換して券売機を使っている。というニュースを見ました。諸外国よりかなり遅れていて、とても先進国の話とは思えませんでした。

本来であれば不必要な作業をお店もお客さんもしなくていいのに無駄なことだと感じます。

基本的に5のつく硬貨は1のつく硬貨と比較して、必要数が少なくなっています。

1円、10円、5円、100円、500円、5000円の順となります。そのため、1円より5円、10円より50円、100円より500円の枚数が少ないこととなります。

10円～100円は、主に自動販売機の増加に伴い、ここ40年あまりで流通量が激増しました。ちなみに紙幣では5,000円札は非常に流通量が少なく当社でもお客さんからの依頼で用意することも多々あるのですが非常に苦労しています。

キャッシュレスと言われ、カード決済やスマホ決済をする人が増えてきているとは思いますが。国がキャッシュレス化を後押しするのは、硬貨と紙幣は管理に手間がかかり、日本に来る外国人の方にとって不便だからかなと思います。

アメリカでさえキャッシュレス化が40%弱しか浸透していない。日本では18%程度を考えると、まだまだ先のことのかな？と感じます。

今伝えたいこと、キャッシュレス化により今流通

している金種の価値が額面以下になる時代が来るかも？テーブルポストやお賽銭は硬貨でなく紙幣をお願いします。と言われる時代が来るかも？私自身はまだまだ先、少なくとも自分たちが生きている間には100%キャッシュレスにはならないと思います。硬貨の入金は計画的持ち込むことをお勧めします。



松浦正秋君

葬儀に参列していて、ふと感じたことがあります。以前はほぼ全ての葬儀で、喪主や施主を務めた人との関係で式に参列していました。しかし、最近、知り合い自身がお亡くなりになり、お見送りをすることがあります。還暦を過ぎた身にとっては、健康の大切さを痛感させられることはもとより、久しく会う機会が無く、何年ぶりの再会が亡骸になってしまったということが本当に辛く悔しい思いがしました。

年齢を重ねて、自分の事、家族の事、会社の事などに追われ、疎遠になってしまった友人に久しぶりに会っておくのが良いことと感じました。たまには、若き日に戻って昔話を肴に酒を飲み交わすのも必要だと思いました。

話は変わります。青年会議所に28歳で入会し、13年間在籍しました。43歳でロータリークラブに入会し、再来月で18年となります。この31年間で様々な事を学びました。

JCでは、物事を進めるうえで、どのような発想をし、どのように行動を起こすかということの重要性を学びました。一見不可能で無謀のような事も、発想力と行動力で実現することができるということを実際に目の当たりにし、体験しました。

RCでは、人生の後半を生きていくうえでのポイントを学んでいます。毎週の例会に出席することを実行するうえで、例会場に自らが赴くためには自身の事業が健全で、毎週1時間という時間の確保ができ、その1時間を家族に快く理解され、自らの心身も健全であることが必須となり

まず。会社の健康、家族の健康、自身の健康。本当に素晴らしいことを教えていただきました。多くの人との出会いの中で、様々な事を学ぶことができました。自分の人生があとどのくらいなのかわかりませんが、いろんな意味で楽しく過ごしていきたいと感じています。

■ **今週の一言**

**大村和宏君**



お題は「私の好物」で頂いております。私は幼少のみぎりお小遣いというものを頂いておらず、お小遣いを勝ち取って

からも、すべて音楽活動に充てておりました。あっいわゆるバンド活動です。そのため漫画というものをほとんど読んだことがなく、中年になってから、いわゆる大人買いをするようになってしまいました。

だいたい全 50 巻クラスの漫画を大人買いして処分することを繰り返しております。

ここ数年は「ハイキュー」というバレーボール漫画全 45 巻を買い揃え、既に 20 回ほど読み返しています。

この作者、書いたがキャラが可愛くなってしまうようで、嫌な登場人物もかならず良い面を描き、さいごにはみな愛すべきキャラになっています。人好きの私にとっては、癒しの書となっているわけです。というわけで、私の好物、「ハイキュー」でございます。



(担当/杉山君)

# 例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
10/21(金) 第 1477 回	お月見例会	小杉苑
10/28(金) 第 1477 回	早朝例会	
11/4(金) 第 1479 回	会員卓話	理事会
11/11(金) 第 1480 回	地区大会報告	小杉苑

